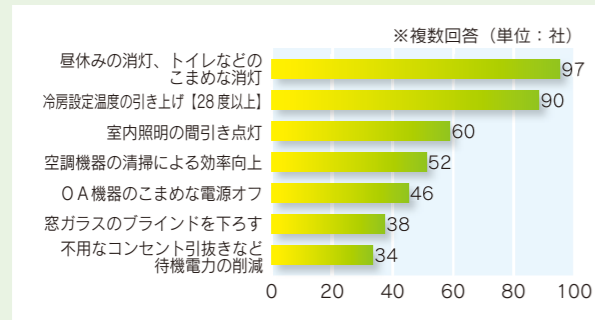
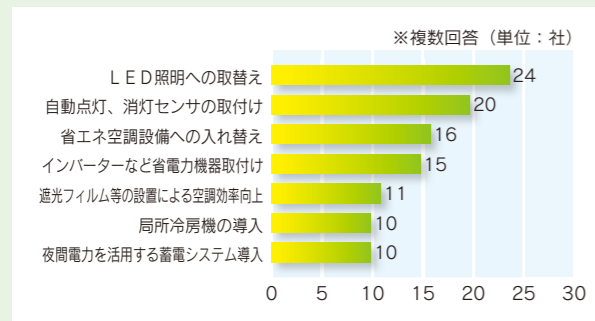


## 「この夏の節電に向けた取組に関するアンケート」調査結果

### 2. 設備の運用による主な節電の取り組み



### 3. 設備の導入による主な節電の取り組み

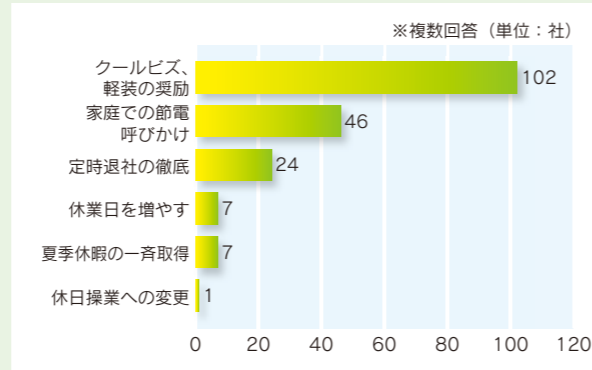


### 【調査の概要】

- 調査期間: 平成23年5月29日～6月3日
- 対象: 福井商工会議所 部会委員 (中堅) 企業 339社
- 調査方法: ファクシミリによる送付、回収
- 回答数: 141社 (回答率41.6%)

### 【調査結果の概要】

#### 1. 勤務スタイル・勤務時間の変更による主な節電の取り組み



「全社をあげて節電や省エネモードの醸成に取り組んでいきたい」と話す片山さん

この結果、改修工事前の平成18年度と比較して約10%の電力使用量の削減を実現した。

また、今年4月から県内6店舗で使用電力の「見える化」に向けた取り組みを新たにスタート。各店舗のパソコンで、日・週・月単位で使用電力量が一目で確認できるシステムを導入。一方で、従業員に節電への意識の徹底と、バックヤードや陳列棚における照明の間引き、店内の空調温度の設定、陳列棚のナイトカーテンの有効利用など、「こまめな」

- (1) 冷蔵冷凍庫の遠隔制御とピーク電力量の抑制
- (2) 空調機の室外機への水噴霧による放熱効率の向上
- (3) 蛍光灯照明器具の安定器をインバーターに交換し、消費電力を抑制



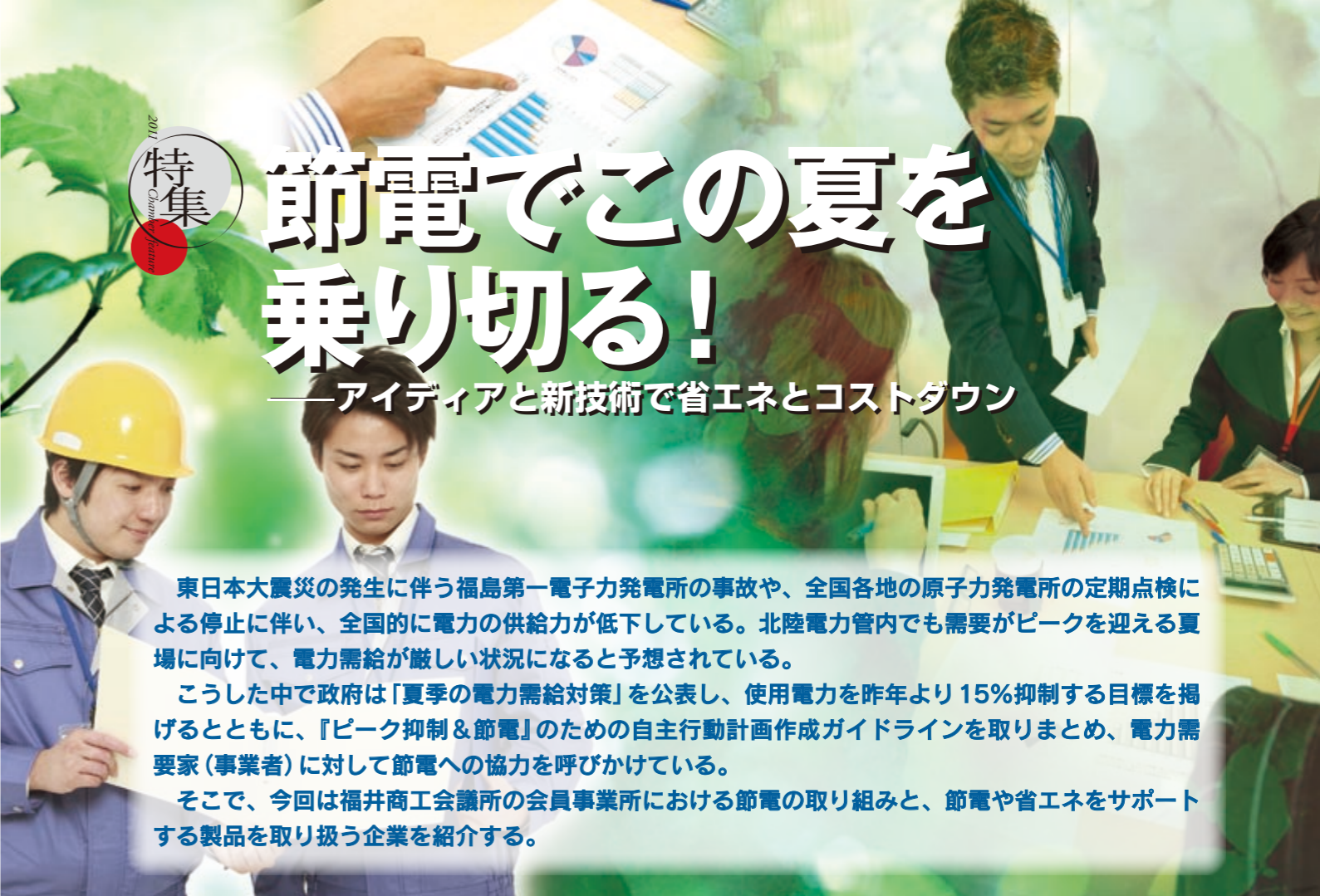
上: 使用電力の「見える化」により消費量削減に取り組むユース新田塚店  
右: 消費電力が少ない「LED照明」を利用したユース町屋店の店内



節電への取り組みを実施することで、前年同月比で約8%の使用電力削減を図ることができたという。

この他にも、白熱電球に代えて消費電力の少ないLED照明の導入や、冷蔵ケース・空調機の入替えも順次進めている。

「震災直後にはお客様から『店内が明るすぎるのではないか』というご意見もいただいた」と話す財務部長の片山亮さん。「今後も全社をあげて節電の徹底と、お客様を含めた省エネモードの醸成に取り組んでいきたい」と抱負を語っている。



# 節電でこの夏を乗り切る!

— アイディアと新技術で省エネとコストダウン

東日本大震災の発生に伴う福島第一原子力発電所の事故や、全国各地の原子力発電所の定期点検による停止に伴い、全国的に電力の供給力が低下している。北陸電力管内でも需要がピークを迎える夏場に向けて、電力需給が厳しい状況になると予想されている。

こうした中で政府は「夏季の電力需給対策」を公表し、使用電力を昨年より15%抑制する目標を掲げるとともに、『ピーク抑制&節電』のための自主行動計画作成ガイドラインを取りまとめ、電力需要家(事業者)に対して節電への協力を呼びかけている。

そこで、今回は福井商工会議所の会員事業所における節電の取り組みと、節電や省エネをサポートする製品を取り扱う企業を紹介する。

厳しい電力需給見込みと節電に対する高い関心

6月15日に北陸電力が発表した今夏の電力需給の見通しでは、志賀・敦賀の原子力発電所の停止による電力供給不足が懸念されている。水力・火力発電所の補修時期を変更し、供給力を増強した場合でも、8月における供給予備率は2.2%に止まり、猛暑などの不確定要素を考慮すると、厳しい需給状況が見込まれている。

【表1】北陸電力管内の電力需給の見通し (単位: 万kW、%)

	7月	8月	9月
供給力	553	537	530
最大電力	526	526	491
供給予備力	27	11	39
供給予備率	5.1%	2.2%	7.9%

※北陸電力発表/志賀原発1・2号機、日本原発2号機が停止し、水力・火力の補修時期を調整した見通し

一方、当所が会員事業所を対象に行った節電の取り組みに関するアンケート調査では、「設備の運用による節電の取り組みを実施する・実施予定」と答えた企業が、87・2%に上り、節電に対する高い関心を伺わせる結果となった。(詳細は次ページ上段を参照)

アイデアと製品力で節電と省エネに取り組む

県内の事業所でも、さまざまな工夫を凝らして、節電・省エネ・CO<sub>2</sub>削減の取り組みが進められている。そこでここからは、特徴あるアイデアで節電・省エネに取り組む事業所や、独自の製品力で節電・省エネをサポートする企業の取り組みを紹介する。

使用電力の10%カットを達成 (株)ユース

福井県内を中心にスーパーマーケット27店舗を展開する(株)ユース(本社・福井市文京/古谷 光雄社長)では、店舗設備の改修と従業員の節電の取り組みにより、使用電力の10%削減を達成している。

同社では平成19年から(株)ESCO(エスコ)推進協議会が提唱する「住宅・建築物高効率エネルギーシステム導入促進事業(BEMS導入支援事業)」の補助金を活用し、県内外の19店舗で省エネに向けて、次のような設備改修工事を実施した。

節電でこの夏を乗り切る！



「製造業の節電やエコアクションをバックアップしたい」と話す南光さん

電子部品や制御ソフトの設計・製造を行う日野電子(株)(本社・坂井市丸岡町熊堂/岡田正一郎社長)では、平成17年からLED照明の分野に参入。高輝度LED照明設備を独自に開発し、製造・販売している。

- (1) 保温・断熱効果で節電・省コスト・CO2削減に貢献
- (2) 火傷などの事故防止や吸音効果で職場環境を改善
- (3) 予算に合わせ分割施工が可能

これまで見過ごされてきた設備の表面温度が150℃以下の乾燥機、染色機、空調ダクト等に簡単に貼り付けて使用することができ、機械の加熱・保温にかかる電力料・燃料費の削減や、工場内の空調費のコスト

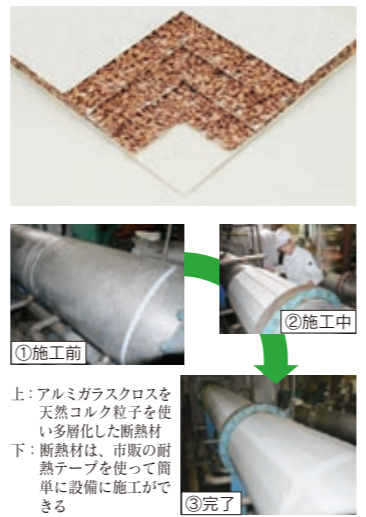
【夏期の節電方法】

事業所の使用機器は、(1)空調(冷房など)、(2)照明・コンセント、(3)その他の使用機器、の3つに分けられ、機器特性に応じた節電を実施することが効果的です。

空調(冷房)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎冷房の温度は28℃に設定する</li> <li>◎普段人のいない部屋、共用部の空調は停止する</li> <li>◎ブラインドやカーテンで室内に入る直射日光を遮る</li> <li>◎冷気を逃がさないため、換気のための外気取入量を減らす</li> <li>◎"よしず"などでエアコン室外機に当たる直射日光を遮る</li> <li>◎熱交換器やフィルターを清掃する</li> </ul>
照明・コンセント	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎普段人のいないエリア、共用部の照明は間引く又は消灯する</li> <li>◎日中は自然光を利用し、なるべく消灯する</li> <li>◎照明ランプを省エネ型蛍光灯やLEDなどへ切り替える</li> <li>◎席を離れるときはOA機器の電源を切る</li> <li>◎給茶器・温水便座などの電源プラグを抜く</li> <li>◎普段使用しない機器の電源プラグを抜く</li> </ul>
その他の使用機器	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎冷蔵・冷凍ショーケースの設定温度を変更する</li> <li>◎なるべく階段を利用し、エレベーターやエスカレーターを一部停止する</li> <li>◎適切な機器メンテナンスを実施する</li> <li>◎加熱炉・加熱装置の放熱を防止する</li> <li>◎コンプレッサの供給圧力を低減する</li> </ul>

日時: 7月26日(火) 18:30~20:00  
 会場: 福井商会議所ビル 国際ホール  
 ※詳しくは折り込みのセミナーインフォメーションか当所HPをご覧ください

ダウン、CO<sub>2</sub>の削減が期待できる。社内の乾燥炉で行ったテストでは、7.5%の省エネ(LPGの削減)効果が確認されている。また、納入先の染色メーカーでは温水洗浄機の燃料費換算で9.7%の削減効果が得られたほか、約20%の省エネ効果が確認された納入先もあるという。既に県内



上: アルミガラスクロスを使い天然コルク粒子を使い多層化した断熱材  
 下: 断熱材は、市販の耐熱テープを使って簡単に設備に施工ができる

社員の部門・企業単位の一つ一つの積み重ねが大きな効果を生む。左記のような節電手法を組み合わせ、コストダウンや社内の省エネ意識啓発へと繋げていただきたい。

「一つの積み重ねが大きな節電とコストダウンに」

外の繊維や食品、電機メーカーにも納入されており、追加納入の引き合いも寄せられているという。社長の南光雅仁さんは「製品の耐水性や衛生面を改善し、幅広い製造業の節電やエコアクションをバックアップしていきたい」と抱負を語ってくれた。



「企業の節電と地域の防犯にも貢献していきたい」と話す岡田さん

同社の主力製品であるハイパワーLED照明器具「GL500B」

- (1) 低消費電力 (2) 瞬時点灯
- (3) 低環境負荷 (4) 長寿命
- (5) 高信頼性 (6) 低UV/低赤外線
- (7) 耐候性・耐振動性
- (8) 防塵・防水
- (9) 軽量・コンパクト

同社のLED照明は次のようなコンセプトで開発が進められてきた。

高輝度LED照明で企業の節電をサポート  
日野電子(株)



省電力と長寿命に優れたLED照明器具「GL500B」



LED照明器具「GL500B」が取り付けられた越前市の体育館



軽量・コンパクトで屋外の照明にも最適

既に県内外の工場や学校、体育施設に加え、イベント用照明にも導入されるなど、着実に実績を積み重ねており、納入先からは「使用電力が半分になった」「工場の中が明るくなり、作業がしやすくなった」など喜びの声も多く寄せられているという。社長の岡田正一郎さんは「使い手側の目線で、品質と使いやすさに更

なる改良を重ね、企業の節電とともに地域の防犯にも貢献していきたい」と意気込みを語ってくれた。日野電子(株)のLED照明器具についてはグループ企業のHTエレクトック(株)TEL0776(63)6910へお問合せください。

簡易断熱材で製造業のエコアクションをバックアップ  
富士工業(株)

富士工業(株)(本社・福井市上河北町/南光雅仁社長)では、平成17年に環境省が推進する「エコアクション21」の認証・登録を受け、リサイクル素材を原料とした製品の開発・生産などに取り組んでおり、昨年からは、同社が長年にわたって培った壁紙の製造技術を応用して開発した天然素材系断熱材「ヒートカバリーングス」を製造・発売している。

天然コルク粒子とゼオライトの造